



亡き夫を偲びつつ...

◀10月23日、戦没者の妻50周年式典が、約120人の参加で保健福祉センターを会場に開かれました。これは先の大戦で夫を亡くされた人を対象に開かれたもの。式典では、参加者を代表して藤岡幸代さん（三和）が「今までの苦労が報われました」と、謝辞を述べました。



サッカーで日・韓の親睦

▲10月31日、大韓民国木浦(もりの)市の木浦第一中学校サッカー部と市内中学校選抜選手との親善試合が行われました。選手団は韓国で孤児を育てた田内千鶴子さんの記念碑除幕式のために、そのご親類員として来高していたもの。両チームは記念のペナントを交換するなど、親睦を深めました。



紙芝居をプレゼント

◀十月二十日、上村しづさん（下末松）が、自作の紙芝居三種類（ほたるぼし・湖のうた・月待草のうた）三十三セットを市へ寄贈しました。「電話を掛くことが好きで、農業を営むかたわら作品を作りました」という上村さんの紙芝居は、市内の保育所や小学校などで活用されます。



南国発 空の便り

▶高知札幌線就航を機会にいずれも、市内で一番小さい学校ということで交流を始めています。北海道千歳市の支笏湖(しこつこ)小学校へ奈路小学校から十月二十三日、手紙やミカン・サツマイモ・四方向竹のたけのこなど南国の味覚が贈られました。



農業集落排水事業・総合体育館・消防屯所が起工

▲10月23日、農業集落排水事業汚水処理施設が、市で初めて浜改田に設置されることとなり、起工式が行われました。処理対象は、浜改田地区(浜田を除く)の約580戸です。また、前浜の南部運動公園の総合体育館(3階建て、建築延べ床面積約7514㎡)と立田消防屯所(2階建て、建築延べ床面積約80㎡)の起工式も行われました。

▲十一月九日、才谷村龍馬祭が開催されました。才谷梅太郎こと坂本龍馬光榮の地として、その偉業に学び、二十一世紀に再びこの地から第二、第三の龍馬を誕生させようと、ゆかりのある「シヤモ鍋」に香鼓をうらながら、秋の一日を楽しんでいました。



県内外に誇れる南国柔道大会

▲11月9日、市民体育館を会場に県南国柔道大会が開かれ、県内外から49チーム327人の選手が参加。ことしが30回となるこの大会は、参加者が年々増えています。また、古くなった中学校の部の優勝旗が新しくなりました。これは、県柔道整復師会から寄贈されたものです。



女性仲間が秋山散策

▲10月26日、市内の女性45人が、秋一色に染まる大豊町梶ヶ森を登山。山の自然を女性仲間であらもうと行われたもので、ことし6月の白髪山登山に続いて2回目。頂上付近は紅葉がまっ盛り、秋晴れの日さわやかな汗を流しました。



育てた大豆が学校給食用のみそに

▲11月15日、青ヶ池中学校の3年生、約20人が大豆の収穫を行いました。無農薬の大豆は乾燥後、農業高校でみそに加工され、来年度には小学校の給食に使われます。



工房の資金に百万円寄贈

▶十一月十一日、からくり半蔵研究同志会の垣内会長は、「青少年の励みになるような新たな企画のために役立ててもらいたい」と、からくり創造工房に運営資金として百万円を贈呈しました。



楽しい社会を目指し生涯学習セミナー

▲一人ひとりが豊かで楽しい社会を目指した、生涯学習セミナーが11月7日、保健福祉センターで開かれました。約30人が参加して行われたセミナーでは、近森病院のメディカル・ソーシャルワーカーの上田真弓さんと県生涯学習ボランティアセンターの野中淑子さんが、生活にとけこんだボランティア活動に取り組む様子を紹介してくれました。



わっ!葉っ、葉、アードで遊ぼう

▲大浜小1年生22人が11月1日、黒滝自然学習の森で、紅葉した葉や木の葉を使って絵を描いたり、リースを作って楽しみました。いつもは静かな山里も、この日は元気な子どもの声がかぎまわっていました。

▶十一月十七日、大浜保育所で女性消防団員による火災予防を訴える紙芝居が行われました。「はだしのたつくんとドラ猫」という題名の紙芝居は、彼女たちの手づくりで今回が初めてのお披露目。子どもたちは、楽しみながら火災予防を学びました。

火災には気をつけて